

四国八十八所巡拝(徳島)

春のお遍路は徳島県(阿波)を廻ります。今回は一番からですので新規のご参加もお待ちしています。

記

期間 三月十七日～十九日

札所 一番から二十三番

宿泊 一泊目 安楽寺

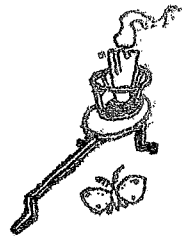
二泊目 徳島市内

会費 四万三千元程度

(最大定員 二十五名までで人数で料金は減額します)

募集の開始は二月二日です。お問い合わせとお申し込みはお電話をしてください。

なお秋の高知県の巡拝は十一月十七日から十九日までを予定しています。



真言宗の基礎知識(その四十)

(弘法大師)

真言宗を日本に招来し、高野山や各地にお寺を建立され、全国各地に足跡を残された弘法大師空海は西暦八三五年(承和二年)に高野山に隠れられました。

ここまでが人間「空海」の歴史ですが、お大師様の特異なことは、その後「弘法大師」となってより重要な役割を始められるようになることです。

史実として、西暦八三五年に高野山奥の院の窟に入られたにも関わらず、その後も空海上人(弘法大師)が各地を巡錫(めぐること)され、出会ったという方が続出したのです。(実は今でも四国八ヶ所などを歩いて回られている方の中では、山中で道に迷った時にお会いできたとお話される方は数多くいらっしゃいますし、信仰の有無はありません。)

それが時代を越えて弘法大師伝説を生んできた背景であり、お大師さまのご入定(にゅうじょう)の真相とは何だろうかと疑問になっている所です。

私達が生を全うすれば無に帰るだけの存在なのか、それとも現世と違う来世があるのか、あるいは輪廻はあるのか、どんなに科学が進化しても解明できない疑問は続きます。

人間空海を卒業されたのち、ご入定を果された伝説の「弘法大師(お大師さま)」がご誕生になります。

「玄冬会(げんとうえ)のご案内」

(仏教の智慧へ接近)

日時 令和二年二月十六日(日) 午後一時から四時半まで

場所

上之坊 本堂および広間

会費

千円(茶菓子代)

内容

- ① 仏教入門(諸法無我)
- ② 阿字観(密教禅)の入り口
- ③ 四国巡拝の御詠歌
- ④ 二字戒名と得度について

・お数珠があればご持参ください。前日までに電話連絡をお願いいたします。

ご案内

前回の玄冬会でご好評だった上之坊の歴史と周辺を実際に歩いてみたいと存じます。

時期は五月から六月の予定で、土曜日又は日曜日を考えています。四月以降でお問い合わせください。

上之坊だより

令和2年1月19日 第86号
福山市大門町大門325
電話 (084) 941-1031
fax (084) 941-1168



弘法大師聖語抄

こう ぼう だい し せい じょう

未得を得となし、未到を到とおもえり。

「まだ上達していないのに上手

まったく変わってしまいました。

に出来たと勘違いをし、まだ目的に達してなくても今の状況で良いと思ってしまう。自分で勝手にゴールを変え、努力しなくなる

仕事に定年はあっても人生に定年はありません。生きる事は道を求め続ける事であり、勉強をして毎日の生き方をより意義深いものにしていきたいと思います。

さまは書かれています。

病気になった時は健康のありがた

ここまで出来ればもういいと思ったとしても、そこは終着点ではなくて、通過点である場合が多くあります。通過点は道

さか今まで以上に痛切に実感されるはず。年をとり、出来ない事が増えたとしても、まだ何が出来るか考えなくてはなりません。

分かれ目であり、先に行くか帰るか曲がるかでその後の景色は

今の自分のすぐ近くに別の道の出発点もあるはず。

息災護摩祈願

上之坊では本尊薬師如来の御誓願を頼り、毎月第四土曜日の午後一時三十分より息災を願うての護摩を焚いております。

特に厄年や凶年の方の厄除け、あるいは心身健康や病氣回復の願いなど、息災（平穩無事であること）をお祈りする大変良い機会になつております。是非一度お参りをされるようお勧めします。

祈願のご希望の方には五千円又は三千円の木札をお作りして、ひとりひとり護摩壇のすぐ横で嚴重にご祈願いたしますので、出来れば前日までにご参加をご連絡ください。代理の人での御祈願も可能です。なお、ご家族などで付き添ってお越しただけは、御祈願の様子をご覧いただけます。また、厄除けの方で星祭りの木の札をお持ちの方は重ねての御祈願となりますので威力はさらに大きくなることを期待できます。

年忌表（令和二年）

- 一周忌 令和 元年
- 三 回忌 平成三十年
- 七 回忌 平成二六年
- 十三回忌 平成二十年
- 十七回忌 平成十六年
- 二五回忌 平成 八年
- 三三回忌 昭和六三年
- 五十回忌 昭和四六年
- 百 回忌 大正十 年

今年の該当の方は本堂正面に掲示しております。

（寄附いただきました）

上之坊納骨堂のご案内

上之坊本堂横、多宝塔との間に納骨堂が出来、昨年十月に利用が始まりました。

納骨堂のご利用額は、納骨堂内で個別のお預かり期間が七回忌までは十万円・十七回忌までで十五万円・三十三回忌で二十万円・五十回忌で二十五万円となっております。その後は合祀墓で永代のお預かりをいたします。

毎年の維持費などは一切不要で、合祀墓の使用料も含まれての奉納料です。（なお、お名前などを刻んだプレートをご希望の方は別に五万円を奉納願います）

また、お二人以上のお骨をまとめ、骨壺を大きくする事も可能ですので、詳しくは寺にご相談をお願いします。

土砂加持お供えご芳名（敬称略）

大仙堂横に石段設置
上之坊納骨堂と大仙堂の間で多宝塔に至る参道の横に石崖に登る簡易の石段をほぼ素人で設置をしています。週一回の工事ですが二月中旬には完成の予定になりました。

上之坊総代の変更

玄冬会（げんとうえ）
仏教の文化を気軽に体験する『玄冬会』を次回は二月十六日に開催をいたします。次回は ①仏教用語の『無我』について考える。②密教禅『阿字観』を体験する。③四国八ヶ所の御詠歌を聞く。④戒名と得度について。等を予定しております。詳細は次頁をご覧ください。

厄除け星祭り 二月一日（土曜）午後一時半より

人に良い年と悪い年があるのは、その人が持つて生まれた星とめぐり来る星との位置と関係によって起こると言われています。

星祭りとは年の節目である節分の頃に、その年の当たりの星を奉って、悪い位置の星の人には悪事や災難を免れるように、また良い位置の星の人には一層良くなるようにと祈る行事で、真言宗では千三百年を越える昔から続いている行事です。

上之坊では二月一日（土）午後一時半より護摩（ごま）をたき、節分の厄除けの祈願をいたします。当日は豆まきや福引も予定しておりますので、ご家族やお知り合いなど、お誘いあわせてのお参りをお待ちしております。なお「おふだ」もご希望の方は前日までに申し込みください。お一人につき三百円です。

また、特に大きなおふだをご希望の方には七百円の金札と千五百円の小木札、三千円の大木札の三種類があります。詳しくは別紙をご覧ください。
今年の厄年は、数え年で、男性は平成八年生まれの二十五歳 昭和五十四年生まれの子四十二歳 昭和三十五年生まれの六十一歳と、女性は平成十四年生まれの子十九歳 昭和六十二年生まれの子三十三歳 昭和三十五年生まれの六十一歳です。男性の四十二歳と女性の三十三歳を大厄と言ひ、その前後の年を前厄後厄と言ひます。厄年の方は毎月第四土曜日に護摩祈願がありますので、今回の星祭りと併せて誕生月に是非ご利用ください。

令和二年 行事予定

- 二月 一日 厄除星祭り
- 二月 十六日 玄冬会
- 三月 十七日 四国 巡拝
- 三月 十九日（徳島三日間）
- 三月 二十日 彼岸 勤め
- 三月 二三日（四日間）
- 五月 十日 真明寺例祭
- 五月 十四日 高野山参拝
- 五月 十五日（二日間）
- 七月三十一日 お盆 勤め
- 九月 十五日（十六日間）
- 九月 十九日 彼岸 勤め
- 十一月二日（四日間）
- 十一月十四日 土砂 加持
- 十一月十七日 四国 巡拝
- 十一月十九日（高知三日間）
- 十一月二十九日 得度式（予定）
- 十二月 六日 玄冬会
- 十二月三十一日 除夜の鐘

●毎月第四土曜一時半護摩祈願